



No. 586 附録

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

兵庫版 No. 469

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

兵庫県本部

〒650-0022 神戸市

中央区元町通6丁目6-12

山本ビル 国民救済会内

TEL(078)351-0677

FAX(078)371-7376

言うことが
似てきた



維新

馬場伸幸 代表



ぬ

核使用にも
メリット

亀井
洋示

中央本部常任理事会開かれる

4月1日～6月30日

「署名・会員拡大目標達成特別期間」設定

「国会請願行動」は5月16日(火)に行われます。

「敵基地攻撃能力」保有をはじめ軍事費を5年以内にGDP(国内総生産)比2%以上43兆円「戦争する国づくり」許すな。物価対策はじめ国民の暮らしを守る闘いは焦眉の課題です。

先人たちの不屈の闘いに学んで、再び戦争と暗黒政治許すな!」の旗を掲げて、5月16日50回目の国会請願と6月7日中央理事会にむけ「署名・会員拡大の自主目標達成特別期間(4月1日～6月30日)」を成功させ、2万人会員の早期実現、支部をつくって直属会員をなくしましょう!

中央常任理事会からの呼びかけ

3月24日中央常任理事会が行われ、「特別期間」を設定し、署名と会員拡大を前進させる方針が提起されました。「国会請願行動」は会場の都合で5月16日に行われることとなりました。

中央の方針に基づき、全力を挙げましょう。

署名・会員拡大に全力を！

国会請願 (5月16日)、40周年成功へ

第5回幹事会は3月12日開催されました。

国会論戦を通じて日本を戦争に巻き込む岸田内閣の暴走政治(「大軍拡・大増税」「原発回帰」「ジェンダー不平等」「物価対策

無策」「酪農切り捨て」「報道弾圧」「入管法改悪」等)への不満が高まっています。

統一地方選挙で審判を下し、国賠同盟の役割を発揮することが大切です。

幹事会で確立した方針の概要は以下の通りです。

【署名推進・国会請願に支部代表派遣】

県本部創立40周年記念集会(5月13日)を結節点とし、全会員に

依拠して最低でも1会員5筆以上の署名をめざします。

地域の友好団体への申入れ、メーデーや憲法集会での署名行動など、各支部で行動しましょう。

「国会請願」には支部代表を派遣します。現在まで中央支部、明石支部で代表が決まっています。

【会員拡大】

各支部の総会や支部役員会の議論を通じて、団体訪問、学習、「支部ニュース」発行など創意ある活動が広がりつつあります。

会員拡大は12月以来毎月二桁拡大が続き、3月まで4カ月で44人の入会者が生まれています。早急に1200人を突破しましょう。また、新たな支部結成を急ぎましょう。

【創立40周年記念行事】

記念講演は中央本部の吉田万三会長です。友好団体、近畿の府県本部、歴代会長などを招き、40年の歴史を教訓とする集会とします。また、「第二部」としてレセプションを行います。各支部からの参加目標は表のとおりです。

各支部への参加要請 (県役員を含む)		
	第一部	レセプション
東灘	4	3
灘	4	3
中央	7	5
尼崎	6	4
淡路	2	1
明石	6	3
加古川	3	2
高砂	2	1
西播	6	3
但馬	3	2

【統一地方選挙】

この間「同盟要求」に賛同し、地方議会での協力をいただいていた候補者への「檄(ためいき)」を届けることを確認しました。

【日程】

第6回幹事会 4月14日(金) 午後1時30分、長田区の「平和と労働会館」。

第31回全国女性交流会報告集

2022年11月6日から7日に開催された「第31回全国女性交流会」の報告集ができました。

報告集冊子 A4版 114ページ 800円
田村智子参院議員記念講演DVD 400円

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟女性部



第31回全国女性交流会報告集



治安維持法 法国賠同盟兵庫県本部

創立40周年記念集会

5月13日(土) 午後1:30

神戸市まちづくり会館
2階ホール

〒650-0022 神戸市中央区元町通

4丁目2-14

電話：078-361-4523

(JR 元町駅から西へ徒歩10分弱)



■記念講演…(仮題)「国賠運動の歴史と課題」

講師：吉田万三 中央本部会長

■文化行事 (要請中)

■功勞者紹介、40年史年表披露



記念レセプション

会場：雅苑酒家（南京町）

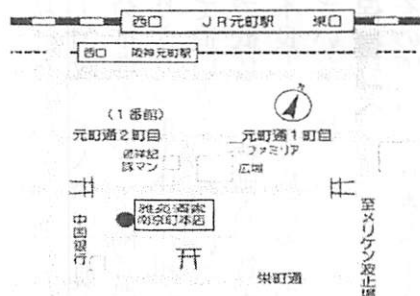
16 : 30 ~ 18 : 00

会費 3 0 0 0 円

(事前にお申込みください)

近畿の府県本部代表スピーチ他

記念集会終了後



兵庫県神戸市中央区栄町通 2-8-7

棧敷よし子 (ジヨセフィン) (9)

田中隆夫

看護婦資格を三十六才で取る

当時の都市人口五十人で結核患者一人の高率でした。集団検診制度もなく、勤労者は咳血し働けなくなつた者だけが時たま発見され委託病院へ送られた。『隔離』だけで積極的治療は何もない。暗黒の世界で日々消え入る様に死亡する人々、彼らの死に棧敷は無効であつた。一九三九年から二年で入院患者のうち死亡は半数を超えた。

あちこちの「伊藤千代子」



日独伊三国同盟が結ばれた翌年、一九三九

年、ヒトラーは第二次世界戦争を開始、フランス・スペインで人民戦線政府が誕生。中国では抗日民族統一戦線が結成。日本では美濃部博士、滝川教授、良心的宗教家も弾圧された。国家総動員法、国民徴用令が出て食料品、衣類の配給制、賃金物価の統制が始まり、北ベトナムへ侵略開始された。

結核と生活苦

棧敷は、このころ訪問看護を自主的に行つた。内田家への訪問・戸が開くと、薄暗い湿っぽい臭気が漂つた。部屋には十四才の妹が脳炎で意識はなく夢中に顔に手をかざして動かしつた。「お医者さんは？」「お父ちゃんのお給金が

保健婦時代の棧敷よし子(39歳・1941年頃)=岸伸子氏提供

少なく月2回血を売ってお医者さんに来てもらつて。もう見込みはないとみはな

されました。兄と一緒に入院させてくださいと方面委員さんにお願ひしているが、それまで持ちますやらね」「兄もこの子も、小学校を卒業するとすぐに働きに出て、お給金が出るとすぐ家に持ち帰るやさしい兄妹でした。肺病は恐ろしいもんですね。あんなに元気だった子どもが半年余りで、こんな哀れな姿になるなんて。給金を少しでも多くと残業して家に帰ると熱心に勉強していました。食べ物が粗末だから栄養が足らなく病気に負けたのです。妹は急な高熱で医者に見せた時には栗粒結核と診断。仕事をやめ家で寝ていたが、近頃は脳にきて何も判らなくなつてしまつて」と母親は日夜の看護疲れに顔は青ざめ、カサカサの手で油つ気のない髪を撫でつけ胸の中の苦しみを訴えた。

閉ざされる解決の道
結核は苛烈な労働条件による過労、貧困による栄養不良、過密な住宅事情、汚れた空気が感染、発病、悪化を加速する。貧困の上に病気で苦しむ深刻な社会矛盾を解決する道は、現在の社会体制を変える世直ししかない。棧敷は思う。しかし、中国大陸侵略の日中戦争の最中、労働大衆を導く日本共産党は、相次ぐ弾圧で牢獄にあり、勇敢に注意深く大衆の前に現れる文化団体も個人も次々と特高の追及にさらされ消されていく。

私は今、一人で何ができるか。国政の主人公の労働大衆、革命推進力になる労働者農民は、ぎりぎりの軍事体制に組み込まれて追い立てられている、その中で低賃金、物価高、貧困、栄養不良と不幸な病に多くの人ががさいなまれている。

保健婦へ
その頃、同じ日本女子大社会事業部女工保全科を出て厚生省労働局監督課に務める先輩の谷野せつを訪問した。